

事業所名

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

1 月

16 日

法人（事業所）理念	スポーツの価値を拡張し、心に残る今を創る		
支援方針	運動療育を通じて楽しみながら、多面的な成長を支援する その中で小さな成功体験を積み重ね、子どもたちが日常生活や社会の中で自信を持って、自分らしく活動できるよう支援を行う		
営業時間	平日 土・長期休暇	9 時 30 分から 8 時 30 分から	18 時 30 分まで 17 時 30 分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	体力の維持・向上：サッカーを通じて、日常生活に必要な基礎体力や持久力を養う 生活習慣の改善：定期的な運動機会を設けることにより、規則正しい生活習慣を形成する 健康管理スキルの向上：自分の体調を自覚するための声掛けや、準備運動での怪我の予防意識付けを行う 安全意識の向上：道具の扱いや周囲の安全確認の必要性を学ぶ	
	運動・感覚	基礎的な運動能力の向上：運動を通じて全身的な運動機能を発達させる 感覚統合の支援：サッカーを通じて視覚・触覚・平衡感覚を統合的に育てる ボディイメージを高める：自分の身体の動きと空間での位置関係を理解する力を育む	
	認知・行動	状況判断力の強化：サッカーの試合を通して、ボール・味方・相手の動きを観察し、次に何をすべきかを判断する力を養う 目標設定と成功体験：小さな目標（例えばドリブルでゴールまで行くなど）を設定し、小さな成功体験を積み重ねていく 自己コントロールの促進：試合での勝敗に対する気持ちの折り合いなど、自己の行動を適切にコントロールする練習を行う	
	言語 コミュニケーション	指示の理解と実行：コーチからの指示をしっかり聞き、理解し、行動する練習を通じて言語理解力を育てる 相手への伝達力向上：自分の意図を言葉で伝える練習（「パスして」「横にいるよ」など） 反省と振り返りの場の提供：サッカー療育の最後に振り返りを行うことで、自分の行動に対する振り返り（考える）機会を設ける	
	人間関係 社会性	チームワークの経験：チームでの活動を通して、他者と協力する力や達成感を育む 勝敗への向き合い方：試合での勝敗を受け入れる練習を通じて、悔しさや喜びを適切に表現する力を養う 対人スキルの向上：挨拶、仲間との声掛け、ルールを守るなど社会に必要なスキルの向上を養う 共感能力の育成：仲間や相手への敬意や感謝の気持ちを持つことを学ぶ	
家族支援	療育での児童の様子を保護者に情報共有するとともに、必要に応じて保護者の不安や悩みを聞き取り、解決に向けて支援する。 また保護者同士の交流の場の提供を行う	移行支援	事業所間で連携を取り、次のライフステージへの交流と情報交換を行う
地域支援・地域連携	学校や他事業所など各関係機関との情報共有し、利用者が地域で安心して生活できる環境作りに努める	職員の質の向上	研修・勉強会参加や定期的なカンファレンス開催を実施し、職員のスキルアップを図る 各種資格取得研修への参加
主な行事等	法人としてお祭り（年二回程度）での販売体験 親子フットサル開催 サッカースタジアム見学		